

平成 20 年度決算による

財務諸表を公表

【一般会計版】

問い合わせ先▶▶▶財政課（☎ 82-1131）



市では、平成 20 年度決算の状況を、一般会計を対象に、資産や負債、コストなど企業会計の考え方をを用いて、貸借対照表や行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書の 4 つの財務諸表を作成しました。

貸借対照表は、市の資産とその資産をどのような財源（負債・純資産）で賄ったかを分かるようにしたものです。（A：貸借対照表）

貸借対照表の資産から負債を引いた残りが純資産になります。その純資産が 1 年間にどのように増減したかを明らかにしたものが、純資産

変動計算書です。（B：純資産変動計算書）

純資産変動計算書の中にある純経常行政コストの内容を明かしたものが、行政コスト計算書です。（C：行政コスト計算書）

貸借対照表の資産の部にある現金の流れを示したものが、資金収支計算書です。（D：資金収支計算書）

これにより、市が作成する「歳入歳出決算書」とは違った角度で市の財政状況を見ることができます。これらの 4 つの財務諸表は、市ホームページでも閲覧することができます。



本市の資産と負債

<平成 21 年 3 月 31 日現在>

A: 貸借対照表*1

これまでに形成してきた資産

公共サービスを
提供する資産 879 億 5,114 万円

有形固定資産*2 878 億 6,675 万円
売却可能資産 8,439 万円



投資など 39 億 9,885 万円

投資や出資金 9 億 6,339 万円
貸付金 20 億 1,586 万円
基金など 10 億 1,960 万円



1 年以内に収益が
想定される資産 13 億 3,292 万円

現金預金 3 億 7,654 万円
財政調整基金・減債基金 7 億 3,575 万円
未収金 2 億 2,063 万円

資産合計 932 億 8,291 万円

資産を形成するための財源

将来の世代が
負担するお金（負債） 386 億 438 万円

市債 264 億 4,703 万円
長期未払金 21 億 5,329 万円
退職手当にあたるお金 58 億 9,889 万円
翌年度に返済する予定の市債 23 億 9,705 万円
未払金など 17 億 812 万円



これまでの世代が
負担してきた資産（純資産） 546 億 7,853 万円

公共資産整備に使われた
国、県からの補助金 156 億 202 万円
公共資産整備に使われた
一般財源など 645 億 9,543 万円
その他の一般財源 △ 256 億 4,533 万円
資産評価の差額 1 億 2,641 万円

負債・純資産合計 932 億 8,291 万円